

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成21年11月25日

【評価実施概要】

事業所番号	4072600903		
法人名	有限会社 コスモスケア		
事業所名	グループホーム コスモス今川		
所在地	〒824-0041 福岡県行橋市大字大野井477番地1 (電話)0930-24-9021		
評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会		
所在地	福岡県北九州市小倉北区真鶴二丁目5-27		
訪問調査日	平成21年11月17日	評価確定日	平成21年12月3日

【情報提供票より】(21年10月24日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 17年 11月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 3人(兼務1人) 非常勤 6人 常勤換算 5,8人	

(2)建物概要

建物形態	単独	築 4年
建物構造	軽量鉄骨 造り	
	1階建ての	1階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	平均37,000 円	その他の経費(月額)	光熱水道費 6,600 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (180,000 円)	有りの場合 償却の有無	有 (期間:6ヶ月以内)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	又は1日当たり 1,100 円			

(4)利用者の概要(21年10月24日)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	3名	要介護2	0名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 86,5 歳	最低	79 歳	最高	99 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	・ 尾形内科クリニック	・ 行橋グリーン歯科医院
---------	-------------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

稲刈りが終わった跡の、切り株が整然と並び、広大な田園地帯。遠くにそびえる山並みと澄んだ空気。開放感溢れる立地に、グループホームコスモス今川がある。玄関を入ると美術館のように、利用者と共に作成した作品が並び、見る目を楽しませてくれる。包括支援センター主催の「地域いきいきネット」に昨年より参加し、サービスの質の向上と地域交流に努めている。家族会を設立し、家族や利用者の立場に立ったサービス提供と、利用者や家族の意向の把握に、職員が一丸となって取り組んでいる。理念に掲げている家庭的な環境で快適な生活が送れるように工夫し、常に向上心と専門性を持って生活支援をしているグループホーム今川である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題は「運営に関する家族等意見の反映」と「人権教育・啓発活動」であった。家族会を設立し、家族だけで悩みや心配事を話し合える機会を設け、意見の反映もできている。「人権・教育啓発活動」は運営推進会議の中で人権研修会を取り入れ、啓発活動に繋げている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員は外部評価の意義を理解して、職員一人ひとりが真剣に自己評価を記入し、会議で話し合い、気づきや矛盾点を見つけて、管理者が取りまとめ、作成している。評価結果は全員で回覧し、職員一人ひとりが目標を定め、改善に向けて取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議は2ヶ月毎に開催し、家族代表、地域代表、行政職員、ホーム職員で構成し、介護に関する情報や運営状況等を報告し、運営推進会議は21回を超え、外部から講師を招き「人権講習」を開催したり、会議がマンネリ化しないように工夫し、運営推進会議が発展していくように努力している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	利用者の家族は毎月1回は来訪している。職員は家族に利用者の状態や日々の生活の様子等、ホーム便りや個人記録で説明し、密に話し合う機会をつくり、意見や要望が気楽に言える状態である。又家族会を設立し、忌憚のない話し合いができるように努力している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホーム開設から4年、地域の夏祭りや神幸祭、ホームでの懇親会、餅つき大会、誕生会などにより、地域との連携が深まり、信頼関係が築かれている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域との交流、ふれあいを大切にし、家庭的で快適な生活が送れるように、専門性をもって支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎朝理念を唱和することで、グループホームの役割を理解し、確認することで、より良いケアになるように、努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者、家族、職員が地域住民であり、地域との交流は毎年積極的に行い歓迎されている。地域の夏祭り、神幸祭、ホーム主催の芋掘り、餅つき、バーベキューや、グループホームとの懇親会など、地域との交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員で取り組み、施設長がまとめて作成している。外部評価の意義は、全職員で理解し、結果はミーティング等で報告し、より良いグループホームにしていく取り組みを行っている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は2ヶ月に1回開催し、21回目となる。参加者は家族、利用者、市職員、区長などで構成し、活動報告などの他、講師を招き人権講習をしたりして、ホーム運営を推進する会議として定着している。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センター主催の、地域いきいきネットに参加し、地域、市町村と情報交換もできている。施設見学を受け入れたり、相談、連絡等を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
7	10	<p>権利擁護に関する制度の理解活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>利用者が成年後見制度を利用することもあり、職員全員で制度の内容について理解し、家族に説明が出来る体制である。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月1回支払いのため家族が来訪する際に、利用者の状況や金銭管理など報告している。また、ホーム便りを毎月発行し、行事予定など、分かりやすく説明している。</p>		
9	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を設立し家族同士で話し合える機会を設けている。家族が意見や苦情を出しやすい関係作りに努め、玄関に意見箱を設置し、ホーム運営に反映させている。</p>		
10	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の7割以上が3年以上勤務しており、利用者とは馴染みの関係で信頼も深い。</p>		
11	19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は職員の募集採用にあたっては性別や年齢などを理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きと勤務し社会参加や自己実現の権利が十分に保障</p>	<p>職員の採用に関しては、介護に対する思いや姿勢のある人材を重視し、年齢、性別に制限はない。職員の休憩室を設けたり、職員の親睦会を行うなど、職員がそれぞれの特技や趣味を生かしながら、生き生きと働けるようにしている。</p>		
12	20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員などに対する人権を尊重するために、職員などに対する人権教育、啓発活動にとりこんでいる</p>	<p>利用者が、家庭的な雰囲気を感じ、いつも笑顔で、その人らしい生活が送れるように理念に掲げ支援している。又運営推進会議では外部から講師を招き人権講習を開催している。</p>		
5. 人材の育成と支援					
13	21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症介護者実務研修基礎課程及び実践者研修は常勤職員全員が受講している。受講者は内部研修で発表し、全員で共有し、サービスの質の向上に繋がっている。その他の研修においても開催している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
14	22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	行橋市、みやこ町で形成している京築グループホーム連絡協議会を2ヶ月に1回開催し、情報や意見の交換や相互訪問をしたりと勉強の場として交流を図り、サービスの質の向上に努めている。		
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者は、日帰り体験入居で、職員と馴染みの関係をつくり、環境に適應できるようにして、利用者、家族が安心して、納得のうえでの入居に繋げている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩である利用者から多くのことを学び、お互いに家族のように共に暮らし支え合う関係を築いている。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
17	35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴や利用者の希望、家族の意向を把握し、利用者本意の生活ができるように、支援している。意向の表出が難しい利用者には、関係者から情報を聞き取り、利用者の視点に立って支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常生活の中で利用者の要望、課題を把握し、家族、主治医、職員でケアのあり方について話し合い、利用者がより良く暮らせるように介護計画を作成している。		
19	39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1度のモニタリングと6ヶ月に1度のプランの見直しを行い、状況変化に応じた対応を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の外泊やかかりつけ医の送迎、入院のお見舞いなど、利用者と家族の要望に沿えるよう対応している。季節に応じた行事を行い、地域ボランティアをお願いしたり、緊急時やその他の用件時に、職員以外で即対応できるボランティアを1名確保している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望する医療機関を受診できるように対応している。24時間対応できる医療機関もあり、利用者の状態に応じて、往診の支援も行っている。		
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた対応について、利用者、家族、医師と話し合い、看取りの指針を職員で共有し、家族と連携する体制をとっている。		
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りを尊重し、プライバシーを損ねないよう支援している。利用者との関係が馴れ合いにならないよう配慮している。個人情報の取扱は、人目につかないよう管理している。		
24	54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員主導のペースではなく、利用者の心身の状態、意向を把握し、可能な限り本人の希望に沿えるように支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に料理作りや配膳、後片付けを行い、和やかな雰囲気職員も一緒に楽しみながら食事をしている。		
26	59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望を優先して入浴支援をしている。基本的には、月、水、金が入浴日である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
や					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生け花やカラオケ等のレクリエーションや花壇・野菜作り、地域行事への参加、料理・片付け、洗濯など、利用者一人ひとりの身体機能に合わせて役割、楽しみごとの支援をしている。		
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、ドライブ、お花の水やり、家庭菜園作り、3ヶ月に1度の外食会など、利用者の希望に応じて外出支援をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠していない。玄関等の施錠は、夜勤職員が1人になる時間帯だけ鍵をかけるようにしている。職員は利用者の行動パターンや傾向を把握し、見守りの支援を行っている。		
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導のもと、日中、夜間想定での消火訓練及び避難訓練(誘導方法、通報方法の徹底)を行っている。その際の地域の参加をお願いしている。また、災害に備え非常食、飲料水の備蓄をしている。		
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量のチェック表を作成することにより、利用者一人ひとりの健康状態を把握し、調理方法や盛り付けの工夫を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は利用者と職員の作品が展示しており、ちぎり絵や干支の貼り絵、季節感のある生け花など、美術館のように飾られている。雰囲気の良い居心地の良い共用空間となっている。		
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は、利用者の使い慣れた馴染みの物が置かれ、思い思いの飾り付けをして、居心地よく過ごせるように工夫している。		